

景気観測(LOBO)

《2025.7～9月》

令和7年度 第2四半期

日 立 商 工 会 議 所
情 報 化 委 員 会

I. 調査概要について

(1) 調査期間並びに調査基準

調査期間	四半期毎に実施、時期としては7, 10, 1, 4月
調査基準	四半期毎の景況感を対前年同期と比較

(2) 調査対象並びに回収状況

業 種	調査対象件数	回収件数	回収割合(%)
製 造 業	25	22	88%
小 売 業	25	21	84%
建 設 業	25	21	84%
サービス業	25	20	80%
計	100	84	84%

(3) 調査内容並びに調査方法

調査項目	業界全体の動向と関心事項、売上高の推移と変化要因 採算・仕入/販売単価・従業員数・資金繰りの変化状況
調査方法	FAX・インターネット活用

(4) 調査結果の採用

商工会議所として、景況の判断資料とすると共に一般会員にも「かいぎしよNEWS」での掲載を中心に景気動向として発表。協力事業所に対しても結果送付。

◎LOBOとは「CCI(Chamber of Commerce and Industry)-Quick Survey System of Local Business Outlook」(商工会議所早期景気観測)からとった略称。

◎DI値(景気判断指数)について

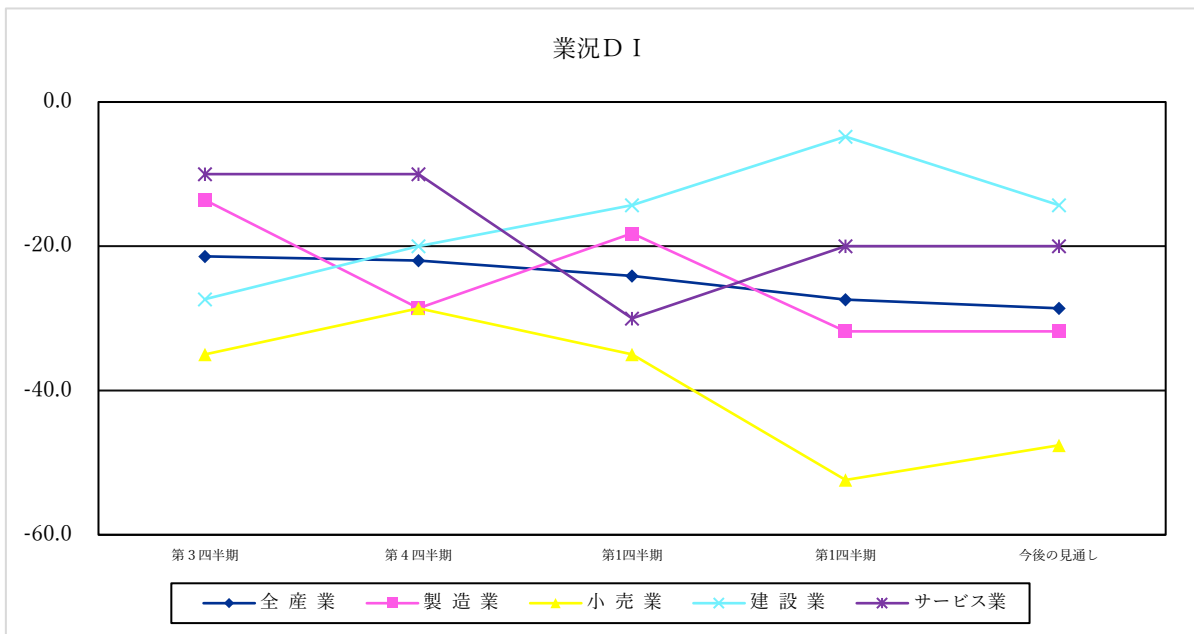
- ・DI値は調査項目についての景況判断状況を表す。(▲で下向き)
- ・強気、弱気等景況感の相対的な広がりの意味する。
- ・ $DI = (\text{増加・好転・不足等の回答割合}) - (\text{減少・悪化・過剰等の回答割合})$

II. 業況判断について

- 全産業の業況は、▲27.4と前回調査時(▲24.1)より3.3ポイントの悪化。今後の見通しは▲28.6と今回比1.2ポイントの悪化が見込まれる。
- 製造業では、▲31.8と前回調査時(▲18.2)から13.6ポイントの悪化。今後の見通しは、▲31.8で横ばい。
- 小売業では、▲52.4と前回調査時(▲35.0)より17.4ポイントの悪化。今後の見通しは▲47.6と今回比4.8ポイントの改善が見込まれる。
- 建設業では、▲4.8と前回調査時(▲14.3)より9.5ポイントの改善。今後の見通しは▲14.3と今回比9.5ポイントの悪化が見込まれる。
- サービス業では、▲20.0と前回調査時(▲30.0)より10.0ポイントの改善。今後の見通しは▲20.0で横ばい。

(1)業況DIの推移とキーワード

	令和6年度		令和7年度		
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	今後の見通し (10～12月)
全産業	▲ 21.4	▲ 22.0	▲ 24.1	▲ 27.4	▲ 28.6
製造業	▲ 13.6	▲ 28.6	▲ 18.2	▲ 31.8	▲ 31.8
小売業	▲ 35.0	▲ 28.6	▲ 35.0	▲ 52.4	▲ 47.6
建設業	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 14.3	▲ 4.8	▲ 14.3
サービス業	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 20.0



	キーワード		
	第1位	第2位	第3位
製造業	最低賃金上昇	関税の影響	受注量減少
小売業	原材料高騰	最低賃金	購買力の低下
建設業	技術者不足	公共工事増加	DX化
サービス業	材料・燃料等高騰	消費者の節約志向	価格転嫁

《全国との比較》

	令和7年度第2四半期		今後の見通し(10月～12月)	
	全国(9月)	日立	全国	日立
全産業	▲ 18.6	▲ 27.4	▲ 17.3	▲ 28.6
製造業	▲ 23.9	▲ 31.8	▲ 18.9	▲ 31.8
小売業	▲ 23.6	▲ 52.4	▲ 22.6	▲ 47.6
建設業	▲ 10.2	▲ 4.8	▲ 7.7	▲ 14.3
サービス業	▲ 12.3	▲ 20.0	▲ 14.4	▲ 20.0

(2)売上高・採算・仕入単価・販売単価・従業員数・資金繰りの推移(DI値)

(売上高)

	令和6年度		令和7年度		
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	今後の見通し (10~12月)
全 産 業	▲ 2.4	▲ 4.9	▲ 25.3	▲ 23.8	▲ 6.0
製 造 業	9.1	▲ 14.3	▲ 13.6	▲ 27.3	9.1
小 売 業	▲ 5.0	9.5	▲ 25.0	▲ 23.8	▲ 23.8
建 設 業	▲ 13.6	▲ 10.0	▲ 47.6	▲ 28.6	9.5
サービス業	0.0	▲ 5.0	▲ 15.0	▲ 15.0	20.0

(採算)

	令和6年度		令和7年度		
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	今後の見通し (10~12月)
全 産 業	▲ 23.8	▲ 28.1	▲ 24.1	▲ 34.5	▲ 25.0
製 造 業	▲ 9.1	▲ 23.8	▲ 22.7	▲ 22.7	▲ 4.6
小 売 業	▲ 45.0	▲ 42.9	▲ 30.0	▲ 52.4	▲ 52.4
建 設 業	▲ 22.7	▲ 25.0	▲ 28.6	▲ 33.3	▲ 14.3
サービス業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 30.0	▲ 30.0

(仕入単価)

	令和6年度		令和7年度		
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	今後の見通し (10~12月)
全 産 業	▲ 73.8	▲ 76.8	▲ 67.5	▲ 71.4	▲ 52.4
製 造 業	▲ 59.1	▲ 61.9	▲ 59.1	▲ 63.6	▲ 31.8
小 売 業	▲ 80.0	▲ 85.7	▲ 75.0	▲ 71.4	▲ 61.9
建 設 業	▲ 77.3	▲ 80.0	▲ 71.4	▲ 76.2	▲ 61.9
サービス業	▲ 80.0	▲ 80.0	▲ 65.0	▲ 75.0	▲ 55.0

(販売単価)

	令和6年度		令和7年度		
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	今後の見通し (10~12月)
全 産 業	32.1	42.7	36.1	23.8	29.8
製 造 業	27.3	28.6	40.9	13.6	9.1
小 売 業	35.0	66.7	50.0	38.1	42.9
建 設 業	36.4	45.0	33.3	23.8	19.0
サービス業	30.0	30.0	20.0	20.0	25.0

(従業員数)

	令和6年度		令和7年度		
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	今後の見通し (10～12月)
全 産 業	23.8	18.3	25.3	28.6	29.8
製 造 業	13.6	4.8	4.6	13.6	13.6
小 売 業	15.0	28.6	20.0	19.0	19.0
建 設 業	45.5	10.0	33.3	42.9	42.9
サービス業	20.0	30.0	27.3	40.0	45.0

(資金繰り)

	令和6年度		令和7年度		
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	今後の見通し (10～12月)
全 産 業	▲ 13.1	▲ 15.9	▲ 18.1	▲ 22.6	▲ 22.6
製 造 業	▲ 4.6	▲ 14.3	▲ 13.6	▲ 18.2	▲ 27.3
小 売 業	▲ 20.0	▲ 23.8	▲ 40.0	▲ 28.6	▲ 38.1
建 設 業	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 4.8	▲ 28.6	▲ 19.0
サービス業	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 5.0

(3)業種別概況

業 種	概 況
製 造 業	<p>業況感・売上高が共に悪化、採算は変わらず。関税・最低賃金上昇の影響が今後どうなるか見通せない様子が伺える。受注量減少の報告も見られ気になる。</p> <p>個別では</p> <p>「米国の関税対応等を踏まえ、政治の混迷が長引かないことを期待するのみです。政治の歪みは即、経済や外交に波及するので懸念されます。」(組合)</p> <p>「工事案件の遅れや集中による出荷の影響」(建築資材製造業)</p> <p>「トップランナー式変圧器の基準改定に伴う主要顧客の受注拡大と受注状況。新規案件による底上げはあるが、大きく好転できるほどの規模ではない。」(電気機械器具製造業)</p> <p>「最低賃金上昇の影響や、取引先からの値下げ要請がみられる。」(輸送用機械器具製造業)</p> <p>「売上げ水準は、年度末まで横這いの見込み。」(輸送用機械器具製造業)</p> <p>「校閲にも AI を導入し、デジタル出版が始まり、短納期に対応している」(印刷業)などの報告があった。</p>

小 売 業	<p>業況感・採算が共に悪化、売上高は多少回復。原材料等の上昇と、商品への価格転嫁が追い付かない状況は変わらず。受注減少の報告も見られた。</p> <p>個別では</p> <p>「原材料の高騰に価格転嫁が間に合っていない。年間の原材料の値上がりが半端ない回数。甥の地方公務員の話でも給料明細の総所得は増えても税金引かれて手取りはマイナスとなり、国の政策に疑問。大手チェーン同業店舗の開店や、近隣同業者のリニューアルから一年になるので、ここからどれだけ戻せるか。首相も代わり年末に向けどれだけ動くかに期待したい。」(菓子製造小売業)</p> <p>「仕入れ原価の上昇と最低賃金の上昇で利益が出にくい状況が続く見込み。」(食品スーパー)</p> <p>「ガソリン暫定税率の撤廃案が出ているが、撤廃に動くのか、撤廃しないのかによってガソリン需要に大きく影響が出る。コロナ以降外出の機会が減り、これを機に動きが変わることを期待しているので、是非暫定税率撤廃を実施願いたい。」(燃料小売業)</p> <p>「時代とニーズを的確に把握し環境にとらわれず進める。」(カー用品小売業)</p> <p>「食料品等の価格高騰の影響か、衣料品への購買力が低下していると感じる。」(紳士服販売業)</p> <p>「今年度から日立市立の全保育園等で、園児見守り保育業務ICT化が始まり、行事写真撮影、プリント等の受注が全く無くなった。」(写真業)</p> <p>などの報告があった。</p>
建 設 業	<p>業況感・売上高回復も、採算は若干悪化。工事減少の報告が見られ、人材・技術者不足は変わらない旨の報告があった。</p> <p>個別では、</p> <p>「民間建築工事の引き合いは多いが、従業員不足により受注機会損失が生じている。」(総合建設業)</p> <p>「先行きの見通しが不安定であり、仕入れ価格上昇分を販売価格に転嫁できない。適正価格の確立が必要であり、その共有を求めたい。」(総合建設業)</p> <p>「日立市全体に活気がない。」(一般住宅建築業)</p> <p>「公共・民間工事の減少、人材不足を感じる。」(土木工事業)</p> <p>「スタッフの減少、着工棟数減少による売上の減少。」(設備工事業)</p> <p>などの報告があった。</p>
サービス業	<p>業況感は回復しているが、売上高は横ばい、採算は悪化。客単価の減少や、原材料等の高騰により、厳しい状況が続いている報告があった。</p> <p>個別では、</p> <p>「運送業の運賃値上げが認められないため、ドライバーの賃金アップが厳しく、転職が増えている。」(物流業)</p> <p>「客足が少なくなっている気がする。特に夜、高いメニュー・お酒が出ない。女性新総裁誕生による景況の変化、物価の動向を注視したい。日製の家電品販売がどうなるのか、多賀駅の改装による影響が気になる。」(飲食業)</p> <p>「若年層の離職・転職による顧客減少」(理容業)</p> <p>などの報告があった。</p>

